

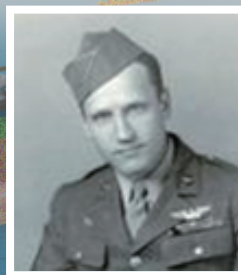
# 福音新聞

Good  
News  
NO.50



発行：浜松恵みキリスト教会 ホームページ：<https://www.tsukuno.com/hamamatsu/>

## 真珠湾と二人の軍人



「神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。  
それは、私たちがこの方において神の義となるためです。」  
(聖書)

1941年12月7日、真珠湾攻撃を指揮した日本軍の中佐をご存知でしょうか。彼の名前は淵田美津雄氏。彼が「トラ、トラ、トラ（ワレ奇襲ニ成功セリ）」という暗号を打電したエピソードはとも有名です。一方、このニュースに激怒し、日本人に復讐するため自ら米国陸空軍に入隊したひとりのアメリカ人がいました。彼の名前はジェイコブ・デシエーザー氏。彼は爆撃機のエンジントラブルが原因で日本軍の捕虜となってしまうました。この愚かしい戦争がきっかけで国籍も価値観も異なる二人の軍人の人生と永遠が180度変えられることを、まことの神以外、誰が予測できたでしょう。

## 出会いと回心

終戦後のある日、淵田氏は所用があつて渋谷駅に下車しました。駅前に出ると、ひとりのアメリカ人が道行く人々に「かつて私は日本の捕虜でした」と題したパンフレットを配っていました。そこにはデシエーザー氏の手記が記されてあつたのです。憎しみを抱えたまま人生を終えるわけにはいかない、そう考えた彼は、日本人看守が差し入れた聖書を三週間読みふけりました。そして、まことの神の御前に罪人である自分が、今まさにこの神と戦争状態にあり、神と和解しなければならぬと気づかされたのです。彼は、十字架上で自分のために死なれ、復活されたイエス・キリストを自分の神、主として信じる決心をしました。その後、幸いにも釈放された彼は、本國で宣教師になる訓練を受け

ました。そして憎むべき敵國であつたこの日本に、福音宣教のため家族と来日していたのです。手記の内容は複雑な心境に陥っていた淵田氏の心を捉えて離しませんでした。敵國に壊滅的なダメージを与え一躍英雄になった彼でしたが、終戦後、日本を敗戦と混乱に導いた軍首脳への視線が急に冷たくなったためです。「自分のしたことは善なのか、それとも悪なのか。敵を愛するとはどういうことなのか。人間を根底から変えてしまふイエスとは一体何者なのか、ひとつ、私も聖書を読んでみよう」そう考えた彼は、早速聖書を買ひ求めました。そして、創造主なるまことの神のご存在を知った彼もまた、前述のデシエーザー氏と同じように、イエス・キリストを自分の神、主として信じる決心をしたのです。

## 永遠に変わらない御方

クリスチャンになった淵田氏はかつての戦友たちから裏切り者扱いされました。元特攻隊員が刀を持って彼の家に押し入ることもありましたが、彼の信仰の姿勢は一向に変わりませんでした。淵田氏はこう証言しています。「時代が変われば善悪の基準も変わり、私個人の評価も大きく逆転しました。この世の正義は時と場合によって悪ともなります。そのような世からの評価はもう私にとって大切ではありません。最も大切なことは、永遠に変わることはない、権威者なるまことの神がご存在されることです。その権威の下でしか私たち人間は一貫した生き方ができません。イエス・キリストの福音を信じたこの私をだれが止められるでしょう。」彼もまた、憎むべき敵國であつたアメリカにも渡り、「パール・ハーバーのフチダ」としてキリスト

を証しする者となりました。



## イエス・キリストの福音

一枚のパンフレットが淵田氏の救いのきっかけになったように、この一枚のチラシがあなたの救いのきっかけとなることを心から願って止みません。私たち人間はみな、聖く正しいまことの神から遠く離れた罪人です。人の心は憎しみや妬み、裏切りや傲慢など、苦々しい罪で満ちています。悲惨な戦争はこの罪の産物のひとつに過ぎません。あなたは、あなたに命

を与え、今日まで生かし続けてくださったまことの神をあがめ、感謝して生きておられるでしょうか。むしろ、人間の手で造られた偶像を神として拝み、それらに仕えて生きてきたのではないのでしょうか。偶像崇拜は、まことの神への紛れもない反逆、恐ろしい罪です。神は人間の罪を必ず裁かれる御方です。聖書は「人間には、一度死ぬることと死後にさばきを受けることが定まっている」と警告しています。死

す。キリストは聖書の預言通り、死後三日目の朝に死の力を打ち破ってよみがえられました。キリストの十字架と復活は紛れもない歴史的事実です。ですから、だれでも、どんな過去をもった罪人でも、自分の罪を悔い改め、キリストを信じ受け入れるなら罪の赦しが与えられ、永遠の天国に入ることができます。

後の裁きは、火と硫黄の燃える恐ろしい永遠の地獄です。一度地獄に投げ込まれた人間は決してそこから出られません。しかし人間を愛される神は、ひとり子のイエス・キリストを救い主としてこの世に遣わされました。そして罪のないキリストに全人類のすべての罪を負わせ、私たちの身代わりとして十字架上で罰してくださいだったので

前述の二人の元軍人は、悲惨な戦争体験を通して自分の罪と向き合い、自分の生きる意味、まことの神との関係について深く考える機会を得ました。あなたと神との関係はどうでしょうか。罪の問題は解決済みでしょうか。あなたの死後の行き先はどこでしょうか。十字架で死なれよみがえられた御方、イエス・キリストだけがあなたの神、主です。どうか、イエス・キリストを心に受け入れて、罪の赦しと永遠のいのちを得てくださいますよう心からお勧めいたします。

# 特別伝道集会のお知らせ

10/13

PM7時30分

金

PM2時00分

PM7時30分

土

10/14

10/15

AM10時30分

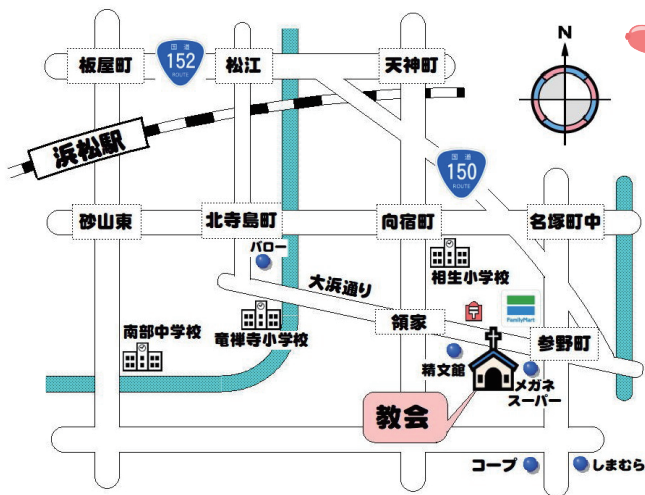
PM2時00分

日

講師：塩見 剛一 牧師（神戸市 灘キリスト恵み教会）



各回託児を用意しています。お子様がおられる方も遠慮なくお越しください。参加費などは一切ありません。



教会学校  
お楽しみ会

10/21

午後1時30分より  
対象年齢：3歳から小6

バルーンアートを行います。  
詳しくはホームページで！



浜松駅より遠州浜行、  
または遠州浜温泉行バスで  
「領家郵便局」まで約6分

## 定例集会のご案内

日曜日

こども礼拝 AM 9:30

一般礼拝 AM 10:30

聖書学び会 PM 1:30

水曜日 聖書学び会 PM 7:30

木曜日 婦人会 AM 10:30

土曜日 中高生会 PM 2:00

聖書学び会 PM 7:30



教会ホームページ  
はこちらからどうぞ

# 浜松恵みキリスト教会

牧師 畑川 洋一郎

副牧師 榊原 康博

〒430-0852 浜松市中区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、世界平和統一家庭連合（旧統一協会）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、ぜひご連絡ください。